

令和6年度（2024年）

事業報告書

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

社会福祉法人 三九朗福社会
特別養護老人ホーム 三九園

令和 6 年度 事業報告書

（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

1. 事業概況

令和 6 年度は 3 年毎の介護報酬改定が行われ、改定率は+1.59%と公表されました。

処遇改善（+0.98%）を差し引くと実質的な増収は+0.61%程度と予想されておりましたが、本施設では介護収入で増収を図ることができました。

今回の改定では「良質な介護サービスの提供と働きやすい職場づくり」などの視点から報酬（加算）が改正されたことから、栄養ケア等の充実を図るため管理栄養士の増員、補助金を活用した見守り機器やインカムを導入した結果、介護の安全確保や職員間の連携強化などにより業務負担軽減やケアの質の向上につながりました。

令和 5 年 5 月新型コロナウイルスの分類が 5 類へ移行された後、本施設でのクラスターの発生はなく、面会制限の緩和や外出・外泊も再開しました。

社会的にも活動制約が緩和されつつありますので、本施設においても生活の質や家族との交流機会を改善するために制約を解除としております。

以上のような状況の下で、令和 6 年度の入居者延べ数は 29,395 人（前年度比 95.5%）、介護収入（サービス活動収益）は 496,435 千円（前年度比 105.7%）の増収という結果になりました。

2. 事業実績等

事業活動収支計算書では、介護報酬改定により基本報酬などが高くなったため、介護収入は前年度の実績を上回り、サービス活動増減差額（収益-費用）では 10,724 千円（前年度△8,392 千円）となりました。

サービス活動外の収支では、借入金利息（5,924 千円）の支払いがありましたが、当期の活動増減差額（最終損益）は 4,800 千円（前年度△13,942 千円）という結果になっております。

一方、資金収支計算書（資金の増減状況）では、事業活動収支で 37,577 千円の資金造成があったものの、借入金の償還額合計が 61,065 千円であることから、結果的に当期末の資金収支差額は△55,659 千円（前年度△38,231 千円）の資金流失となっております。

今後、資金の収支においては更に厳しい状況となることから、豊田市役所より運営に関する助言をいただきましたので、それらの助言等を基に経営改善を進めてまいります。

（1）事業活動収支計算書（損益計算）

単位：千円

勘定科目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
サービス活動 収益 A	496,435	469,539	493,414
費用 B	485,711	477,931	490,315
（人件費支出）	(324,267)	(313,037)	(316,885)
（人件費率）	(65.3%)	(66.7%)	(64.2%)
サービス活動 増減差額 A-B	10,724	△8,392	3,099
サービス活動外差額	△5,924	△5,550	△5,336
経常増減差額	4,800	△13,942	△2,237
当期活動増減差額	4,800	△13,942	△2,237

(2) 資金収支計算書（支払資金の集計）

単位：千円

勘定科目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
事業活動 収入計 A	496,100	469,044	492,382
支出計 B	458,523	447,530	459,752
事業活動 資金収支差額 A-B	37,577	21,513	32,630
施設整備等による資金収支差額	△70,785	△40,750	△11,908
(借入金償還)	(39,394)	(38,144)	(9,136)
(リース)	(2,096)	(2,115)	(2,081)
その他の活動による資金収支差額	△22,451	△18,995	△20,144
(借入金償還)	(21,671)	(18,337)	(20,004)
当期 資金収支差額 合計	△55,659	△38,231	579

(3) 稼働状況（年間）

定員 ユニット型（58人）従来型（32人）ショートステイ（8人）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
入居者延数 ユニット型	18,682人	20,046人	20,153人
従来型（2人床）	10,713人	10,740人	11,344人
合 計	29,395人	30,786人	31,497人
平均介護度 ユニット型	3.9	3.9	4.0
従来型（2人床）	4.2	4.2	4.1
年間入居・退居者数 ユニット型	入居32人、退去31人	入居18人、退去18人	入居26人、退去25人
従来型	入居13人、退去13人	入居10人、退去11人	入居11人、退去13人
看取り介護対象者	13人	9人	9人
入居者の入院延日数（年間）	1,416日	977日	993日
稼働率 ユニット型	92.8%	94.9%	95.2%
従来型（2人床）	95.6%	91.9%	97.0%
稼働率 短期（ショートステイ）	63.8%	48.3%	67.7%

(4) 待機者数（入居申込者数 豊田市集計）

	令和6年9月末	令和5年9月末
豊田市内特養施設数	25施設	25施設
施設入所申込者数（豊田市内全体数） （豊田市内実待機者数）	—	1,348人 (567人)
三九園 ユニット型（58床） 入居申込者数	95人	91人
三九園 従来型（32床） 入居申込者数	92人	81人

(5) 介護職員配置状況（年度末在籍者）

	令和7年3月末	令和6年3月末	令和5年3月末
常勤 介護職員	31人	33人	35人
非常勤 介護職員（実数）	16人	19人	18人

3. 主な取組み事項

(1) 新型コロナウイルスの感染防止対策

5類への分類移行を受け、令和6年度は行政の感染予防対策マニュアルに従い、家族面会や外出の制限緩和および家族や地域も交えた「秋祭り」を開催しました。

また、年末年始においては入居者が自宅に外泊することなども実現しましたが、その結果、新型コロナウイルスに感染する入居者等は発生しませんでした。

引き続き、感染予防対策を実行しつつ地域のイベント参加や自宅への外泊、外出の機会を増やしていけるように対応してまいります。

(2) 職員の定着への取組み

職員の定着に向け、新人職員へのOJTや定期的な面談を実施し、不安や悩みに早期に対応する体制を整備するなど職場環境の改善に取り組みました。また、リーダーへの育成研修や委員会活動への参加を通じて、職員のモチベーション向上と自己成長支援に努めました。加えて、人事評価の再構築や働く環境の改善を柔軟に対応し、ワークライフバランスの向上を図りました。これらの取り組みにより、前年では24.4%あった離職率が7.1%に減少し、安定した人員体制の維持につながりました。今後も職員が安心して長く働ける職場づくりを目指してまいります。

(3) 介護サービス向上への取組み

ユニット型施設として質の向上を掲げています。「介護サービス向上委員会」では職員の質の向上に向けた取り組みを検討し実践しています。また、「生活ケア向上委員会」では、支援員自らが主となり、三九園でのケアの在り方を考え現場において実践的な取り組みを検討しています。

(4) 財務バランスの適正化に向けた取組

令和6年度から借入金の返済額が増額となり、大きな資金の流出がこれまで以上に経営を圧迫しています。このため財務の改善が喫緊の課題となっており、豊田市役所とも改善策について協議を重ねております。

当法人としては、借入金の償還方法、増収策、大きな経費の見直し等について内部で協議検討を進め抜本的な改善を図ってまいります。

(5) 職員の研修の実施について

コロナ感染症が5類に移行したことをうけ、職員のスキルアップと資質向上を目的に施設内外の研修への参加を促しました。感染対策に配慮しつつ、これまで制限されていた外部研修への参加も開始し、専門性の向上と多職種連携の強化を目指しました。

1. 内部研修

参加年月日	研修内容	
毎月 第1、第3金曜日	外部講師による介護サービス向上に向けた研修 (ユニットケア研修)	全職員
毎月 第1、3水曜日 第2月曜日	施設内研修（食中毒予防、口腔ケア、感染症予防、 不適切ケア防止、不適切ケア防止、法人理念等）	全職員

2. 外部研修

参加年月日	研修内容	参加人数
8月3、8、17、 21、23、27日	全国高齢者施設看護師会主催 食欲不振や食機能アプローチ、食事の姿勢	管理栄養士 1名

8月18日	全国老人福祉施設協議会主催 介護安全対策担当者養成研修	1名
9月25日	美里ヒルズ施設見学ツアー（ユニットリーダー 実地研修施設）	2名
9月26、27日	愛知県社会福祉施設協議会主催 キャリアパス対応研修（チームリーダー研修）	5名
11月7日	豊田市主催 コミュニケーション力向上研修	2名
11月11、12日	愛知県社会福祉協議会主催 相談・面接技術向上研修	1名
11月19、20日	日本ユニットケア推進センター主催 ユニットリーダー研修	1名
11月26日	あいち介護生産性向上総合相談センター主催 生産性向上に向けた研修会	2名
11月29日	愛知県主催 防災リーダー養成研修	1名
12月9日	日本ユニットケア推進センター主催 ユニットケアとは何か	8名
1月7～10日	日本ユニットケア推進センター主催 ユニットリーダー研修実地研修	1名
1月31日	日本ユニットケア推進センター主催 食に携わる職員のためのユニットケア研修	2名
2月3日	日本栄養士会主催 栄養ケアマネジメントを最初から学ぶ	2名
2月15、16日	日本防火・防災協会主催 甲種防火管理者新規講習	1名
2月20、21日	厚生労働省主催 介護事業者のBCP研修及び訓練のセミナー	1名
2月24日	日本栄養士会 各種加算の取り方	2名
年間適宜	豊田市、愛知工業大学主催 BCP作成セミナー	1名

（6）介護職員等の求人活動

慢性的に難しい状況が続く介護職員等の人材確保に対して、安定的な雇用ため積極的に福祉関係の就職フェア等に参加し、本施設のSNSの発信とともに求人活動を行いました。

また、海外の介護士の雇用については、特定技能実習生を令和7年9月より受け入れを予定をしています。引き続き、EPA（Economic Partnership Agreement）や特定技能実習の受け入れを進めていき職員の確保に努めます。

参加就職フェア等（主催者）	会場（実施日）
福祉・介護の就職フェア（県社協他）	ウイंकあいち 7月14日
福祉・介護の就職フェア（県社協他）	ウイंकあいち 12月7日
介護の仕事相談会inとよた（市社協他）	豊田市福祉センター 11月16日

4. 理事会、評議員会、監事監査の開催

①理事会の開催

開催年月日	議案等
令和6年6月12日	1. 令和5年度事業報告書, 決算計算書類, 財産目録の承認について 2. 監事監査報告について 3. 定時評議員会の開催について 4. 報告事項 (社会福祉充実計画)
令和6年11月21日	1. 就業規則の一部改正について 2. 令和6年度上半期事業報告について 3. 報告事項 (理事長の職務執行状況)
令和7年3月27日	1. 令和6年度資金収支第1次補正予算 (案) について 2. 令和7年度事業計画 (案) について 3. 令和7年度資金収支予算書 (案) について 4. 評議員選任候補者の推薦の提案について 5. 報告事項 (理事長・業務執行理事の職務執行状況)

②評議員会の開催

開催年月日	議案等
令和6年6月28日	1. 令和5年度の決算計算書類の承認について 2. 監事監査報告について 3. 報告事項 (令和5年度事業報告、社会福祉充実計画、監督官庁が実施した検査・調査の結果について)

③監事監査の実施

実施年月日	監査・閲覧内容、提示した資料等
令和6年5月20日	1. 令和5年度事業報告書、財務諸表 (貸借対照表、事業収支計算書、資金収支計算書、財産目録等)、元帳、処理データ 2. 定款、定款細則、経理規程、就業規則、給与規程等 3. 監査を実施した監事 (河合秀俊、梅村正明)

5. 事業の利用者数

①年度末 入居者の介護度別人員 (ユニット型)

介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計	平均介護度
0	0	14	34	8	56	3.9

②年度末 入居者の介護度別人員 (従来型2人床)

介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計	平均介護度
0	0	7	12	11	30	4.2

③年度末 入居者の年齢別人員 (ユニット型)

	65歳未満	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
男性	3	1	1	13	2	0	20
女性	0	2	7	12	14	3	36
計	3	1	8	25	16	3	56

④年度末 入居者の年齢別人員 (従来型2人床)

	65歳未満	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
男性	1	0	1	6	1	0	9
女性	1	0	4	7	9	0	21
計	2	0	5	13	10	0	30

⑤月別利用人員状況 (ユニット型個室 58 床)

単位: 人員

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ数	1,663	1,624	1,615	1,659	1,552	1,533	1,604	1,561	1,707	1,747	1,596	1,742	19,603
1 日平均	55.4	52.4	53.8	53.5	50.1	51.1	51.7	52.0	55.1	56.4	57.0	56.2	53.7

⑥月別利用人員状況 (従来型 2 人部屋 32 床)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ数	882	948	928	953	962	959	971	938	938	947	826	925	11,177
1 日平均	29.4	30.6	30.9	30.7	31.0	32.0	28.1	31.3	30.3	30.5	29.5	29.8	30.6

⑦年間 入居者数・退居者数、6 年度末待機者数 (ユニット型)

	男	女	合計	不詳	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
入居者数	15	17	32		0	0	3	20	9
退居者数	16	16	32		0	0	8	16	8
待機者数	26	44	70		0	0	26	23	21

⑧年間 入居者数・退居者数、6 年度末待機者数 (従来型 2 人床)

	男	女	合計	不詳	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
入居者数	4	9	13		0	0	2	6	5
退居者数	5	8	13		0	0	2	5	6
待機者数	24	32	56		0	0	19	19	18

⑨短期入所 介護度別 利用人員状況 (年間)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
延人員	4	12	186	481	279	548	361	1,871

⑩短期入所 月別 利用人員状況 (年間)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延人員	143	124	121	134	162	145	187	159	173	175	154	194	1,871

6. 職員の配置

令和 6 年度末 職員の配置人員状況

()内は令和 5 年度末

職 名		A 常勤職員数	B 非常勤実数	A+B 実稼働換算数
施設長		1 人 (1 人)	0 人 (0 人)	1.0 人 (1.0 人)
事務管理部門		1 (1)	3 (2)	2.1 (2.2)
生活相談員		3 (3)	0 (0)	2.0 (2.0)
施設ケアマネージャー		2 (2)	0 (0)	1.0 (1.0)
機能訓練指導員		1 (1)	0 (0)	1.0 (1.0)
管理栄養士		2 (2)	0 (0)	2.0 (2.0)
看護職員	看護師	4 (4)	11 (8)	9.6 (8.6)
	准看護師	0 (1)	0 (0)	
介護職員	介護福祉士	25 (27)	13 (16)	33.1 (38.4)
	実務者研修修了	2 (2)	1 (0)	3.0 (2.0)
	初任者研修修了	4 (4)	1 (0)	4.6 (4.0)
	無資格等	0 (0)	1 (3)	0.4 (2.2)
その他の職員		0 (0)	5 (4)	2.4 (1.9)
医師		1 (0)	0 (0)	1.0 (0)
嘱託医師		0 (0)	2 (2)	0.2 (0.2)

7. 外部の監査・検査等

監査検査項目	実施日	実施者
豊田市保健所の食品衛生監視	令和6年12月20日	豊田市保健所

8. 内部の会議・各種委員会等の実施

会議等名称	開催日	構成職員・委員会の活動内容
管理者会議	毎月定例	理事長、業務執行理事、幹部職員の経営会議
運営会議	毎月定例	運営の中核である役員・幹部職員等の定例会議
リーダー会議	毎月定例	介護・看護・事務部門のリーダーの全体会議
職場会議 (カンファレンス)	毎月定例	介護・看護・事務等の職場ごとの定例会議 ユニット会議（ユニット毎に定例開催）
入居判定委員会	随時開催	入居申込者の中から、次の入居者を選考する会議
安全衛生委員会	毎月定例	腰痛予防など職場の安全管理等について
防災委員会（防火・防災）	毎月定例	初期消火、避難訓練など法令に定められた年2回以上の防災訓練の企画と実施。防災に関する研修会への参加
研修委員会	2ヶ月毎	職員の資質向上のために、施設内の研修や勉強会、外部講師を招いての研修や外部への研修参加を計画し、幅広い知識、技術を身に付けた職員形成を図る
食事委員会	毎月定例	食事に対する楽しみを感じてもらえるよう工夫するとともに、調理業務等の改善を検討 季節感を感じてもらえるような施設内のイベントの企画
入浴・排泄委員会	隔月定例	浴室・機械浴を効率的に使用するためユニット間での調整や安全・安心な機器の使用について検討
感染防止委員会	隔月定例	感染症の予防（水際対策）についての啓発・啓蒙 新型コロナウイルスについては、各種の情報交換や啓発ポスター、BCP策定の検討
介護安全対策委員会	隔月定例	介護事故防止態勢の強化が義務化され、指針の整備、再発防止策等の周知、委員会及び研修の定期的な開催と安全対策担当者の配置が示され、その対応を図る
身体拘束・不適切ケア委員会	隔月定例	身体拘束等に対する委員会、従業者へ周知徹底、指針整備、研修会の定期実施等が示されておりその対応を図る
褥瘡予防対策委員会	隔月定例	入居者の排泄に対する羞恥心に配慮したケアを推進するとともに、個々人にあったアイテムの見直しを検討する
生産性向上委員会	3ヶ月毎	ICT機器が効率的に安全に活用できているかの評価、職員の負担軽減のための対策を検討
ここに来て良かった委員会	毎月定例	「ここに来て良かった」と思えるように入居者の夢を叶える活動を検討し実施する
介護サービス向上委員会	毎月定例	ユニットケアをモデルに、取り組むべきケアのあり方、ユニット内の生活環境（設え）、働き方等を検討 職場監督者としての役割認識について
生活・ケア向上委員会	毎月定例	各ユニット代表支援員がケアのあり方を考える ユニットケアをモデルに職場への実践的な取組みを検討する

9. 地域における公益的な取組について

社会福祉法人の使命として「地域の交流の場」や「地域との防災活動の連携」など公益的な取組みの実施を計画しました。その結果、地域の夏祭りに入居者が参加するなど有意義な時間を過ごすことができました。また、施設では家族や地域の方も参加して秋祭りの開催を行いました。約300名の参加により大きな地域交流の機会となりました。

なお、地域防災連携への取組としては、市内特別養護老人ホームの「非常災害時助け合いネットワーク」及び「災害時の要配慮者避難施設（豊田市）」へ加入しています。